

平成26年度（2014年度）日本留学試験

日本語

(125分)

I 試験全体に関する注意

1. 係員の許可なしに、部屋の外に出ることはできません。
2. この問題冊子を持ち帰ることはできません。

II 問題冊子に関する注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
2. 試験開始の合図があったら、下の欄に、受験番号と名前を、受験票と同じように記入してください。
3. 問題は、記述・読解・聴読解・聴解の四つの部分に分かれています。
それぞれの問題は、以下のページにあります。

	ページ
記述	1～3
読解	5～29
聴読解	31～45
聴解	47～50

4. 各部分の解答は、指示にしたがって始めてください。指示されていない部分を開いてはいけません。
5. 足りないページがあったら手をあげて知らせてください。
6. 問題冊子には、メモなどを書いてもいいです。

III 解答用紙に関する注意

1. 解答は、解答用紙に鉛筆（H B）で記入してください。
2. 記述の解答は、記述用の解答用紙に日本語で書いてください。
読解・聴読解・聴解の問題には、その解答を記入する行の番号 **1**, **2**, **3**, …がついています。解答用紙（マークシート）の対応する解答欄にマークしてください。
3. 解答用紙に書いてある注意事項も必ず読んでください。

※ 試験開始の合図があったら、必ず受験番号と名前を記入してください。

受験番号			*					*				
名前												

記述問題

説明

記述問題は、二つのテーマのうち、どちらか一つを選んで、記述の解答用紙に書いてください（解答用紙には、テーマの番号を書く必要はありません）。

文章は横書きで書いてください。
解答用紙の裏（何も印刷されていない面）には、何も書かないでください。

記述問題

以下の二つのテーマのうち、どちらか一つを選んで 400～500字程度で書いてください
(句読点を含む)。

① 職業の種類によっては、その仕事に必要な人数よりも、その仕事をしたい人の数のほうが少なくて、社会的に問題になっているものがあります。

この問題について、あなたの知っている仕事の例を挙げ、状況を説明しなさい。

そして、その問題を解決するためにどうすればよいか、あなたの考えを述べなさい。

② 現在、いろいろな国や地域で、まだ食べられる食料^{しきりょう}が大量に捨てられていることが問題になっています。

この問題について、あなたの知っている国や地域の例を挙げ、状況を説明しなさい。

そして、その問題を解決するためにどうすればよいか、あなたの考えを述べなさい。

—— このページには問題はありません。 ——

読解問題

説明

読解問題は、問題冊子に書かれていることを読んで答えてください。

選択肢 1, 2, 3, 4 の中から答えを一つだけ選び、読解の解答欄にマークしてください。

I 学生証の再発行の手続きとして、正しいものはどれですか。

1

各種申請

<学生証の再発行について>

手続きは、必ず2号館1階にある事務室の窓口で行ってください。窓口以外では受け付けません。申請した日を含めて3日後に、窓口で受け取ることができます（土日祝日は含みません）。図書館には学生証がないと入れませんので、申請中は図書館入口の受付に申し出てから入館してください。

再発行の対象は「学生証の破損」「紛失」「磁気不良」で、申請に必要な書類は以下の通りです。

- ①パスポートや保険証など、本人であることが証明できるもの
- ②証明写真（縦4cm×横3cm カラー、脱帽）1枚

※磁気不良の場合は①と②は不要です。

手数料は、「磁気不良」の場合は無料、「破損」「紛失」の場合は1,500円かかります。

1. 再発行の申請は、インターネットで申し込むことができる。
2. 祝日がない週は、月曜日に申し込むと木曜日に再発行される。
3. 大学の図書館の受付でも再発行の申請ができる。
4. 「破損」の場合、パスポート、証明写真、手数料があればよい。

II 次の文章の内容と合っているものはどれですか。

2

古典というと、みなさんなんとか、古めかしい感じを受けるかもしれません。でも、その考えは大間違いなんです。本当にその中身が古めかしく、読むに堪えないようなものだったら、それはとっくの昔に消えてしまっているはずだからです。

何百年も何千年も前の人の言葉や書物が、いまだに読み継がれているのは、その内容がちっとも古くないからです。現代にそのまま通じるものがあるからなんです。これは音楽に置き換えてみると、わかりやすいと思います。モーツアルトやベートーベンの音楽を聴いて古めかしいと思いますか？ 誰も思わないでしょう。二百年も前に彼らが作った音楽は、現代人であるぼくらを感動させる力を持っています。

つまり、古典にはどんな時代でも通用する「普遍性」があるんです。「ホンモノ」であるからこそ、古典は現代まで読み継がれてきました。

（金田一秀穂『15歳の寺子屋 15歳の日本語上達法』講談社）

1. 古典を読めば、クラシック音楽を深く理解できるようになる。
2. 現代まで読み継がれている古典は、時代を超えて人の心を動かすものだ。
3. 古典は、現在は消えてしまった昔の考え方を知る上で大切なものだ。
4. 古典が現代に大切に受け継がれているのは、中身が古めかしいからだ。

3

III 次の文章で、「開いている本」の特徴はどのようなものですか。

本書でいうところの「開いている本」とは、ウンベルト・エーコの「開かれ」の概念に依拠しています。それは、読者の積極的な意見構築を期待するために、著者が自らの考えを少なからず隠蔽しているタイプの本のことを指します。つまりそれは「問い合わせ」であり、もしくは「自己決定せよ」という命令であったりします。

…（略）…

「開いている」本を読み進めるとき、私たちは少しイライラする感覚を覚えることがあります。それは、前述のように読者に対して、思考のための素地を提供することに主眼をおき、著者自らの思考や論理が強制されることのないように注意が払われていることによります。「私は～だと考える」とか、「私は～だと思う」などという表現が存在しないわけではありませんが、それはその本の内容の中核に関わるものではなく、あくまでも「素地の形成」のための情報提供として行われている場合がほとんどです。そのような本を読むと、「で、何なの？」という印象を持ったりします。つまり、その「で、何なの？」という問い合わせに対する答えを、読者自らが創出することを想定して書かれている本が「開いている」本です。

（高田明典『難解な本を読む技術』光文社）

1. 著者が隠し立てせず、自分の見解が率直に書かれている。
2. 著者の見解を強制せず、読者が答えを出すように書かれている。
3. 著者の意見は、読者が納得できるように最後に書かれている。
4. 著者と読者との意見交換や対話に基づいて書かれている。

IV 次の文章で、筆者が最も言いたいことはどれですか。

4

「あっ、これって嘘だな」

はったりや見栄、前に言っていたこととつじつまが合わない話、小さなごまかし。いくら巧妙に隠していても、嘘のしっぽがちょろりと見えてしまうことは、案外よくあるのです。そんなとき僕は、あっさりだまされます。

…（略）…

僕は人格者ではありませんが、嘘をつく人には嘘をつかなくてはいけない理由があるのだろうと想像することはできます。やむを得ずにごまかし、取り繕いたい状況だってあるでしょう。

その人とつき合うとは、その人を100パーセント受け入れること。だったらその人の嘘も、嘘をつかなくてはいけない理由も、まるごと引き受けようと思うのです。

…（略）…

たとえば部下の説明を聞いていて、嘘だと感じたとします。そこで「絶対に違うだろう。
おれの目は節穴じゃないんだ」と叱りつけたら、肝心の仕事が滞ってしまいます。

それよりは嘘ごと受け入れてしまい、そこから先にどう進んでいくか、本質に取り組む方法を考えたほうが、よほどいいと僕は思うのです。

（松浦弥太郎『今日もていねいに。』PHP研究所）

1. 仕事を先に進めるためには、少しぐらい嘘をついたほうがいいこともある。
2. 自分の仲間を心から受け入れている人は、だまされやすい傾向がある。
3. よく嘘をつく部下は叱らずに、本当のことを言うまで待った方がいい。
4. 相手が多少の嘘についても、それを受け入れて先に進んだほうがいい。

V 次の文章で、筆者は、どのような製品の使用をすすめていますか。

5

私たちが日常生活において使用している衣服、家電製品、雑貨工業品などの生活用品は、それぞれ多種類のものが市販されている。製造技術の進歩等によって、実用上、特に問題となるような品質の製品が少なくなったこともある。消費者自身が購入時に品質を見極めない傾向が強くなっている。その製品を購入する消費者にとっては、確かに、価格や外観等も重要であるが、製品の本質は品質であり、購入時に環境負荷を含めた品質をよく検討することは、それにも増して重要である。

省資源・省エネルギーの観点から環境負荷の小さい製品の使用が期待されており、環境情報も製品を購入する消費者にとっては必要である。製品の使用の際のエネルギー消費量、あるいは廃棄されたときの処理の難易など製品の環境負荷の大きさは、環境的品質であり、その製品の品質に含めて取り扱うことができるであろう。

(藤原康晴「生活用品の品質に関する情報とその収集」)

藤原康晴他編著『新訂 変動する社会と暮らし』放送大学教育振興会)

1. 実用上、問題とならない品質の製品
2. 環境のことを考えた製品
3. 高度な技術で作られた製品
4. 低価格で外観が優れている製品

VI 自動車の動作音について、次の文章の内容と合っているものはどれですか。

6

自動車では従来、エンジンが主な騒音の原因と見なされ、その発音メカニズムが解明され動作音を小さくする低騒音化の取り組みがなされてきました。しかし、運転者はエンジンの動作音が小さくなり過ぎると、動作状況が把握しにくくなったり、車速の感覚が弱まるなど、快適どころか不快または危険になることもあります。加速時の適切なエンジン音は、ある程度大きな音圧でも心地よいと感じられることが多く、必ずしも無音がよいわけではありません。

また、低騒音化により大きな動作音が小さくなったことで、今まで気になっていた他の動作音が相対的に大きく感じられ、新たな騒音として問題となることもあります。非常に小さな音でも心理的に気になり、その音のみが選択的に聞こえることや、ある動作状態で時折発生する異音が問題となることもあります。低騒音化だけでは、必ずしも心地よい音環境が実現するとは限りません。

そこで、人が心地よく感じる音環境を実現するために、動作音を新たにデザインして快音化することが試みられています。

(戸井武司『トコトンやさしい音の本』日刊工業新聞社)

1. エンジン音が小さいほど快いというものではない。
2. エンジン音はできるだけ大きいほうがよい。
3. エンジン以外の動作音の無音化が必要である。
4. エンジン音はなるべく小さいほうが安全である。

VII 下線部「何度も同じ失敗をすることがある」理由として、最も適当なものはどれですか。

7

何度も同じ失敗をすることがある。繰り返しているうちに、いつか上手くいくだろう、と頑張るのだが、この場合の頑張りというのは、「偶然を期待した」行為にすぎない。それだけ、失敗が繰り返されるのは、そうなる確固たる原因があるからで、やはりこういう場合は、まず冷静になって、その原因を取り除くか、あるいはもう少し回り道をして、別な方法を採用した方が良い。むしろその方が早く成功する。

一度でも成功すると、何度もそれができると思いがちだが、偶然、奇跡的に成功しただけかもしれない。人間というのは、自分の都合の良い方向へ考えるから、成功したときは自分の能力の結果だと分析し、失敗したときには偶然が重なった、と捉える習性がある。

(森博嗣 「「思考」を育てる100の講義」大和書房)

1. どうせ成功しないとあきらめてしまっているから
2. 失敗する原因があるのに、それに対処しないから
3. 一度成功すると、回り道や別の方法を試してみたくなるから
4. 人は何度も同じことを繰り返す習性があるから

VIII 次の文章は広告と広報を比較しています。広報とはどのようなものだと述べていますか。

8

広告は企業や商品などの情報をある程度加工して伝達するものである。なぜ加工するのか。それは商品のセリング・ポイント (Selling Point), つまり“売りもの”をその商品が狙う対象、ターゲット (Target; 的) に受け入れられるように表現する必要があるからである。一方、広報はその主体が企業体であっても自治体であっても、正しい情報を関係者や住民にきちんと伝えて、社会の信頼感や親近感を得る必要がある。従って、ほとんど加工は許されず、何より正確に情報を伝えねばならないのである。

(藤澤武夫『広告の学び方、つくり方』昭和堂)

1. 情報を正確に伝えることを重視する。
2. 商品を売り込むために行う。
3. 聞き手に合わせて情報に手を加える。
4. 公的な団体のみが行い、民間の企業は行わない。

IX 次の文章で、筆者が、21世紀の科学の特徴として述べていることはどれですか。

9

20世紀前半まで、科学研究の対象やテーマの選択は科学者個人の知的興味と自発性にゆだねられていた。そして、基礎研究によって謎が解明され、新しい発見がなされたのちに、その成果が何かに応用されるという展開が多かった。しかし、現在では「この問題を解決しなければならない」という政策課題やターゲットが先にあり、研究テーマが決まっていくケースが増えつつある。これは21世紀の科学の特徴といえるだろう。…（略）…

現在、たとえば砂漠の緑化法、大気汚染を防ぐための低公害車、効率のよい送電方法、癌やエイズの予防・治療薬などの開発研究が求められている。自分たちの関心や自発性に先立って研究テーマが決められてしまう状況に危機感を抱く科学者は少なくないが、もはやすべての科学者がめいめい好きなことをやっていればいい時代ではなくなってきている。

（黒田玲子『科学を育む』中央公論新社）

1. 社会の問題を解決することが研究の目的となってきた。
2. 研究テーマは各科学者が自分の興味に基づいて選べる。
3. 科学は、謎を解明したり知識を深めたりするために利用される。
4. 科学で社会の問題を解決することは難しくなっている。

X 次の文章はカラスが群れる理由について述べています。この文章のなかで理由として述べられているものの組み合わせはどれですか。

10

なぜカラスは、季節限定で群れるのか。…（略）… 実はカラスが群れをつくることについての科学的な説明はまだされてません。が、私としては、このように考えています。

一つは、群れることで眼を多くすることができます。敵を見つけるにもエサを見つけるにも、多くの眼があれば発見の確率が高くなります。100羽の群れであれば200の眼で周囲を観察できます。一羽が敵を発見し、警戒音を出すことで、群れ全体で素早く対応できます。エサを見つけたときも同じです。エサが少なくなる秋後半から冬を越すまでは、カラスは群れていたほうが都合がいいのです。

もう一つは、繁殖期前の冬に群れておくことで、パートナーを見つけやすくなることです。数百羽から大きな群れになると1000羽もの集団になるカラスの群れ。多く出会う中から、一組の*つがいができます。

（杉田昭栄『カラス おもしろ生態とかしこい防ぎ方』農山漁村文化協会）

*つがい：オスとメスのペア

- a 冬の寒さを和らげるため
 - b 敵から身を守るため
 - c 少しでも多くのエサを得るため
 - d 繁殖しやすくなるため
1. a と b と c
 2. a と c と d
 3. b と c と d
 4. a から d のすべて

XI 次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

言語の、必要な情報を伝達することと、相手と情緒的に結びつくことという二つの役割には、ジレンマがある。公共性を發揮するためには、誰にでも意味のとれるものでなくてはならない。しかし仲間とのきずなを深めるためには、相手にしか理解できないような形を取るのが最適なはずなのだ。だから通常どんな言語体系も、*コミュニティーのなかで、公共性への需要と、集団の凝集性を高めるための私的な「乱れ」の圧力とのあいだで揺らいでいる。

(正高信男『ケータイを持ったサル』中央公論新社)

*コミュニティー：社会集団、共同体のこと

問1 下線部「私的」の意味として最も適当なものはどれですか。

11

1. 仲間の間だけで通用することばづかい
2. 専門用語を用いたことばづかい
3. 亂暴なことばづかい
4. 誰にでもわかることばづかい

問2 この文章の内容と合っているものはどれですか。

12

1. 相手の言語能力によって、意味伝達がうまくいかない場合がある。
2. 言葉の文法的正確さと表現としての適切さが一致しない場合がある。
3. 公共性のある言葉を使えば誰とでも密接な関係が作れる。
4. 誰にでも意味のとれる言葉は仲間内の感情の交流に向かないことがある。

XII 次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

考えをまとめようとして、なかなか思うように行かなくて、いらいらすることがある。よく調べて、材料はたっぷりあるのだが、むしろ、たっぷりありすぎるから、どうまとめたらよいか、途方にくれる、というのかもしれない。

まとめ、というのは、実際やってみると、なかなか、たいへんな作業であるのがわかる。その面倒さにてこずったことのある人は、だんだん、整理したり、文章にまとめたりすることを敬遠するようになる。そして、ただ、せっせと本を読む。読めば知識はふえる。材料はいよいよ多くなるが、それだけ、まとめはいっそうやっかいになる。こうして、たいへんな勉強家でありながら、ほとんどまとまった仕事を残さないという人ができる。

もうすこし想を練らなくては、書き出すことはできない——卒業論文を書こうとしている学生などが、よく、そう言う。ぐずぐずしていると、時間がなくなってきて、あせり出す。あせっている頭からいい考えが出てくるわけがない。

そういうときには、

「とにかく書いてごらんなさい」

という助言をすることにしている。…（略）…

頭の中で、あれこれ考えていても、いっこうに筋道が立たない。こんとう混沌としたままである。ことによく調べて、材料がありあるほどあるというときほど、混乱がいちじるしい。いくらなんでもこのままで書き始めるわけには行かないから、もうすこし構想をしっかりしてというのが論文を書こうとする多くの人に共通の気持である。それがまずい。

気軽に書いてみればいい。あまり大論文を書こうと気負わぬことである。

（外山滋比古『思考の整理学』筑摩書房）

問1 下線部「いらいらすることがある」理由として、最も適当なものはどれですか。

13

1. 考えをまとめための材料がそろわないから
2. 知識があまりにも不足しているから
3. 考えをうまくまとめられないから
4. 論文を書くための時間を取れないから

問2 この文章で筆者が言いたいことはどれですか。

14

1. 論文は、構想をよく練ってから書くべきである。
2. いい論文を書くためには、なるべく多くの資料を集める必要がある。
3. 論文は、考えがまとまなくても、まず書いてみるのがいい。
4. 論文は、いいものを書こうという気持が大事である。

XIII 次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

アゲハチョウの仲間は、外見で見分けにくい場合があります。たとえば、日本全国に分布する*ナミアゲハと**キアゲハの成虫はとてもよく似ていて、色や模様でどちらかを判断するのは難しいかもしれません。しかし、実はもっと簡単に見分けるヒントがあります。それは、アゲハチョウが飛んでいる付近の植物です。その秘密は、(A) が二つのアゲハチョウではっきり違います。

アゲハチョウのメスの成虫は、決まった種類の植物だけに卵を産みます。幼虫がその植物以外食べないからです。キアゲハの幼虫は、セリ科の草の葉を食べ、ナミアゲハの幼虫は、ミカン科の木の葉を食べます。では、どうやって植物を見分けているのでしょうか。アゲハチョウのメスの成虫は、前脚で葉に触れて植物を識別します。前脚の一部に味を感じる毛が生えていて、人が舌でなめて味見をするように、植物が持つ成分を確かめます。ですから、もしミカン科の庭木にアゲハチョウがとまっていれば、ナミアゲハだと判断できます。

また、ナミアゲハの幼虫が好むミカン科の木の葉を、他の多くの虫は食べません。虫にとって害になる成分を含むからです。しかし、ナミアゲハの幼虫は、その毒を消す仕組みを備えています。

(石井誠治『樹木ハカセになろう』岩波書店 を参考に作成)

*ナミアゲハ：



**キアゲハ：



問1 (A) に入るものとして、最も適当なものはどれですか。

15

1. 幼虫の色や模様
2. 幼虫の食べ物
3. メスの成虫の色や模様
4. メスの成虫の食べ物

問2 ナミアゲハの幼虫の説明として、この文章の内容と合っているものはどれですか。

16

1. セリ科の草の葉だけを選んで食べる。
2. セリ科の草の葉もミカン科の木の葉も食べる。
3. 前脚で葉の成分を判断してから食べる。
4. 多くの虫にとって有害なミカン科の木の葉を食べる。

XIV 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

「いたずら」は探索欲求にもとづく行動ですから、これを充分に許容することが、意欲をさかんにしますし、自発性を育てるために必要です。しかし、「いたずら」は、その種類によっては大人に迷惑がかかることになります。ですから、大人に迷惑を及ぼすようなことはだんだんにやめてもらうことが、社会的適応の能力を育てるために必要です。さもないと、*野放団な子ども、つまり放縱児ができ上がってしまいます。しかし、「いたずら」をさせないようにすれば、自発性の発達はとまってしまいます。ですから、自発性を育てながら、自己統制の力を育てなければなりません。その際に、「いたずら」を悪いこととして「いたずら」のできない子どもにしてしまっては、子どもの自発性の発達はとまってしまいます。この二つの問題の前に立たされて、お母さんはどのようにしたらよいのでしょうか。

それには、子どもに「いたずら」をされたあとの処置が大切です。何はともあれ、「いたずら」をされて困っている人のいることを教える必要があるのです。

そこで、孫に「いたずら」をされた後、私は口ぐせのように「これ、おじいちゃんの大事、大事よ」と真剣になって訴えました。そのようなときに、孫は私の目を見詰めます。そして、おじいちゃんがとても困っているということを感じ取ってくれるので。これが、共感というもので、祖父とその孫との情緒的な交流が充分に実現できてさえいれば、必ず聞き入れてくれるのです。そして、同じ系列の「いたずら」はしないようになります。

(平井信義『5歳までのゆっくり子育て』PHP研究所)

*野放団な：自分勝手な

問1 筆者は、「いたずら」と子どもの成長にはどのような関係があると述べていますか。

17

1. 「いたずら」は意欲をさかんにするため、^{のほうざ}放団な子どもに育つことはない。
2. 「いたずら」は子どものうちは楽しいが、大人になると楽しくなくなる。
3. 「いたずら」は子どもの自発性を抑え、社会的適応能力の発達を促す。
4. 「いたずら」は自発的な子を育てるが、社会に適応できない子にする危険もある。

問2 筆者は、子どもの「いたずら」に対してどうするのがいいと述べていますか。

18

1. 「いたずら」は悪いことであると教え、やめるよう厳しくしつける。
2. 「いたずら」は人に迷惑をかけることがある、と感じ取らせる。
3. 「いたずら」は子どもの成長に必要なので、見て見ぬふりをする。
4. 「いたずら」をされた人の気持ちを詳しく説明して理解させる。

XV 次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

数年前に、専門外の方々と生命科学の現状についてお話をされる機会がありました。その中で、「そもそも生命とはなんだろう」という話になりました。参加していた主婦の方が「若い者（僕たち同席していた若手研究者）がいろいろ言っているけど、私にとっては生命といえば、まずは自分の娘のことよ」とおっしゃいました。ちょっと不意打ちを喰らった気分になりましたが、^{すがすが}清々しくも実感のこもったこのお母さんの言葉はとても印象的でした。

確かに、「生命」や「いのち」とは、このような思いが投影されてきた概念なのでしょう。自然科学としての生命科学は、なかなかここまで「思い」や生命観を把握することに長けた学問ではなさそうです。

しかし、当たり前のことですが、科学者・研究者もまた、一人の人間として死への恐れや**恐怖**の感を持っているほうが普通でしょうし（少なくとも僕はそうです）、「生物の**生き**」とした側面」にとても興味を持っていて、だからこそ生命科学、生物学に喜びを見出していることが多いはずです。

こうした、「生命」や「死」に対する豊かな感情は、僕たち人間が長年**育ん**できた文化の最たるものだろうと思います。やはり、「生命」のような概念について考えるにあたっては、**実証的**・**実体的**にその成り立ちや歴史を分析する自然科学の手法と、人々がそれにどのような思いを仮託してきたのか、どう考えてきたのかを**把握**・**分析**する人文・社会系の分析の両輪が不可欠なように思われます。

（岩崎秀雄『〈生命〉とは何だろうか』講談社）

問1 下線部「このような思い」の説明として、最も適当なものはどれですか。

19

1. 科学で生命の成り立ちを実証できるという確信
2. 真理を突き詰めようとする科学者の探求心
3. 人間が持つ生命に対する豊かな感情
4. 若い研究者たちの清々しい気持ち

問2 この文章の内容と合っているものはどれですか。

20

1. 自然科学の分野で生命について考えるのは、適当ではない。
2. 科学者は、生命を考えるとき、感情を排除しなければならない。
3. 生命について考えるには、異なる分野から複合的に見ていく必要がある。
4. どのような手法を用いても、生命の本質を究明することはできない。

XVI 次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

日本ではどうしてもプロ写真家をアマチュア（A）の存在として考えがちだ。たしかにプロはアマチュアのお手本であり、技術的にも作品の内容においても高度な仕事をしている。ところが、こういう状況は戦後になってからのことであつた。アマチュアの方が営業写真館の写真師を中心としたプロよりもチャレンジ精神に富んでおり、新しい製品や技法をどんどん取り入れて、意欲的な作品を次々に発表していたのだ。

そう考えると、写真を撮影し、発表するということにおいて必ずしもプロが有利とはいえないのではないかと思ってしまう。もちろん素晴らしい構想力と技術を備え、個性的な写真を発表しているプロもたくさんいる。だが実際の所、仕事としての写真はそれほど面白いものではないだろう。時間に追われたり、自分にはあまり興味がない分野の写真を撮らなければならなくなったりすることも多いのではないだろうか。

アマチュア写真家には、自分の撮りたい写真を好きなように撮影できるという利点がある。どんな撮り方をしてもクライアントからクレームがつくということはない。その点においては、アマチュアの方がプロよりもずっと自由を謳歌できると言えそうだ。そういう立場を大いに利用してもらいたいと思う。

(飯沢耕太郎『写真を愉しむ』岩波書店)

問1 (A)に入るものとして、最も適当なものはどれですか。

21

1. より下位
2. より上位
3. と対等
4. と無関係

問2 下線部「大いに利用してもらいたい」とありますが、筆者が望んでいることは何ですか。

22

1. アマチュアの写真家が、プロの写真家と同じ立場で写真を撮ること
2. アマチュアの写真家が、プロの写真家が何を撮りたいかを理解すること
3. アマチュアの写真家が、その自由を生かして意欲的な写真を撮ること
4. アマチュアの写真家が、撮りたいものでなくてもできるだけ多く写真を撮ること

XVII 次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

世間では、本や映像を通して得る知識よりも、「生の体験」のほうが大事だとしばしば言われる。

…（略）…

何が起こるかわからない複雑怪奇な現代社会を生き抜く。そのためには、生の体験が必要である。ここまでは多くの人が同意したとしても、では、生の体験の本質とは一体何なのかと、改めて問われると考え込んでしまうのではないか。…（略）…

生の体験の意義として、「自分の身体を実際に動かす」ということが言われる。確かに、手足を使って何かをするということが、脳にとって格段の刺激になることは事実である。稲作について教科書でいくら学んだとしても、実際に田植えをしてみるという経験にはかなわない。どんなに知識を積み上げたとしても、そこから予想されることを裏切る要素が、必ず生の体験の中にはある。そのような意味で、(1)身体を動かすことが私たちに深い学びをもたらしてくれることは、疑いのないところである。

しかし「身体を動かす」ということだけで、生の体験の意義が説明し尽くせるわけではない。脳の中の「記憶」という視点から見ると、生の体験には(2)きわめてユニークな特性がある。それは、生の体験には、特定の意味に整理される以前、すなわち「編集前」の*ノイズが豊富に含まれているということである。

書物や映像を通して得られる知識は、(3)そのような情報源を通して学ぶことは効率が良いし、必要なことではある。その一方で、自分で工夫し、言葉にならないものを何とか言葉にしていくという能動的な側面に欠けてしまうことになる。

体験の記憶は、脳の大脳皮質の側頭葉に蓄えられる。^{もくとうよう}脳に蓄積された記憶は長い年月をかけて徐々に編集され、その中で次第に「意味」が立ち上がっていく。最初から「意味」を与えたり、押しつけたりするのではなく、様々なノイズに満ちた生の体験から、自ら「意味」を見いだす編集作業こそが、私たちの脳を本当の意味で鍛える。

（茂木健一郎『それでも脳はたくらむ』中央公論新社）

*ノイズ：雑音。または不必要と思われる情報

問1 下線部(1)「身体を動かすことが私たちに深い学びをもたらしてくれる」理由として、最も適当なものはどれですか。

23

1. 教科書で学んだことが効率よく理解できるから
2. 教科書に載っていることは正しいと納得できるから
3. 教科書の内容が、勉強しなくてもそのまま身につくから
4. 教科書から得た知識では予想できないことが起こるから

問2 下線部(2)「きわめてユニークな特性」とはどのようなことですか。

24

1. 生の体験には、鳥の鳴き声や風の音などの自然のノイズが感じられること
2. 生の体験には、整理する必要のある情報がたくさん含まれていること
3. 生の体験には、映像や書物を通して得られる知識が豊富にあること
4. 生の体験には、脳の中の記憶力を向上させる効果があること

問3 下線部(3)「そのような情報源」とはどのようなものですか。

25

1. 誰かがすでにノイズを処理した情報源
2. 誰かが後からノイズを加えた情報源
3. ノイズが処理されていない自然のままの情報源
4. ノイズが豊富に含まれている情報源

—— このページには問題はありません。 ——

聽讀解問題

説明

聽讀解問題は、問題冊子に書かれていることを見ながら、音声を聴いて答える問題です。

問題は一度しか聴けません。

それぞれの問題の最初に、「ポン」という音が流れます。これは、「これから問題が始まります」という合図です。

問題の音声の後、「ポン」という、最初の音より少し低い音が流れます。これは、「問題はこれで終わりです。解答を始めてください」という合図です。

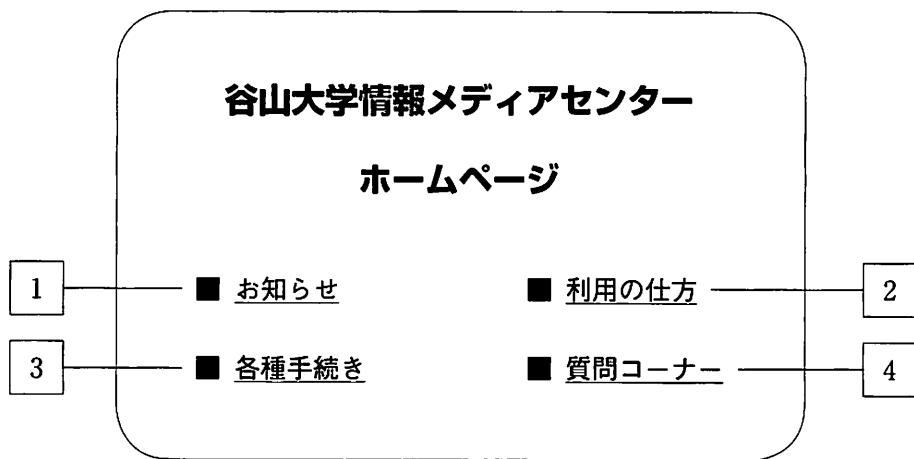
選択肢1, 2, 3, 4の中から答えを一つだけ選び、聽讀解の解答欄にマークしてください。

1番の前に、一度、練習をします。

聽読解問題

練習

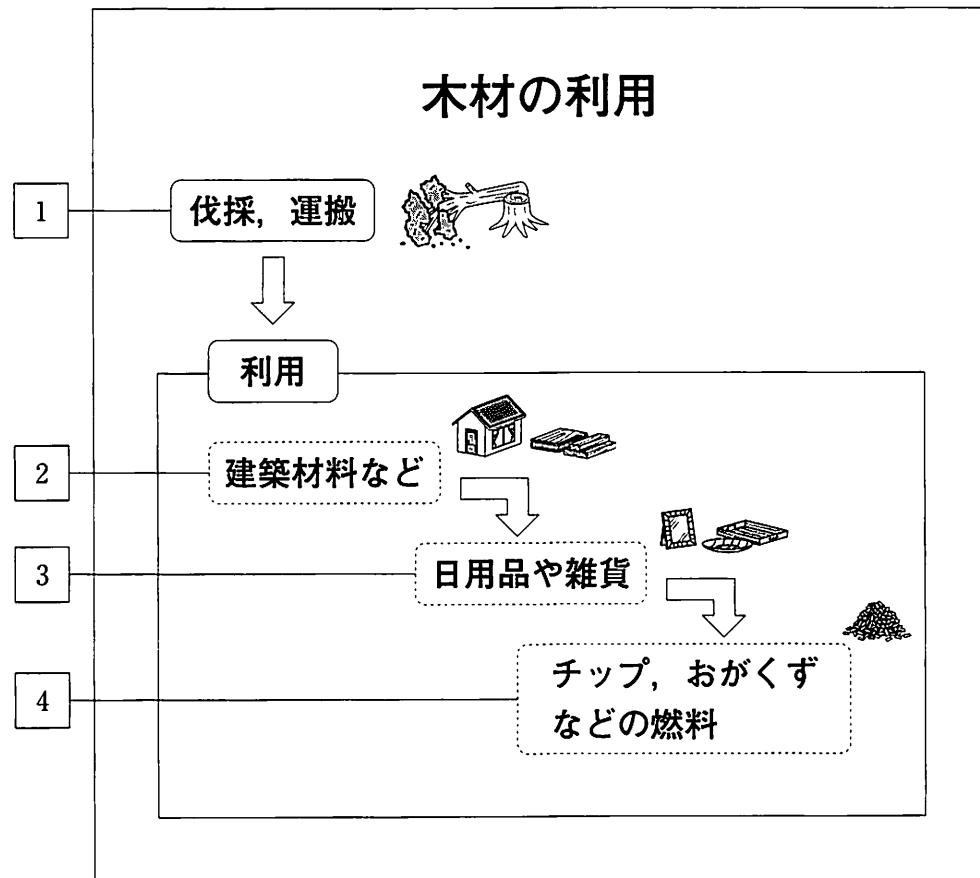
学生がコンピュータの画面を見ながら先生の説明を聞いています。学生は今、画面のどの項目を選べばいいですか。



1番

先生が授業で、木材の利用について話しています。この先生は、今後、図の中のどの段階の開発を進めるべきだと言っていますか。

1

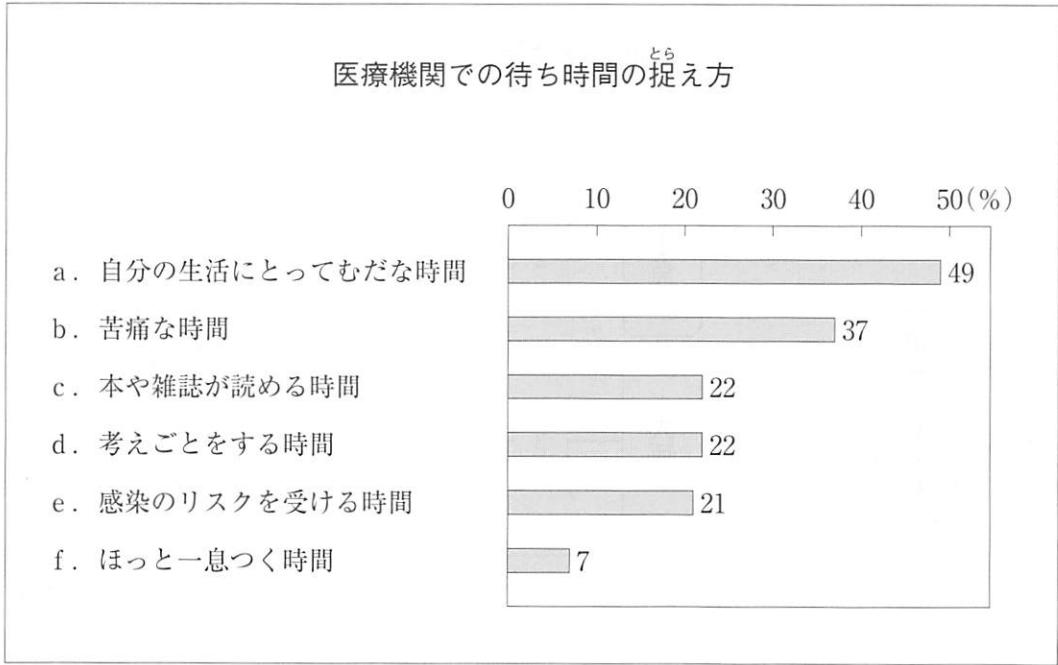


(浜田久美子『森の力』岩波書店 を参考に作成)

2番

先生が、時間の管理について話しています。この先生が最後にする質問の答えはどれですか。

2



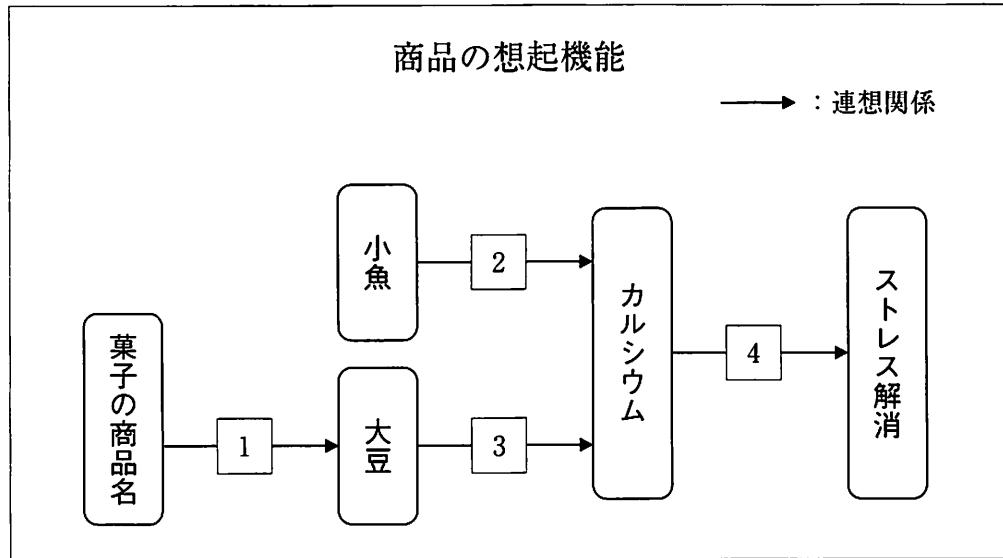
(前田泉『待ち時間革命』日本評論社 を参考に作成)

1. a, b, e
2. b, d, e
3. a, c, d
4. c, d, f

3番

先生が、経営学の授業で話しています。この先生が挙げたお菓子の例で問題があったのは、どの部分ですか。

3

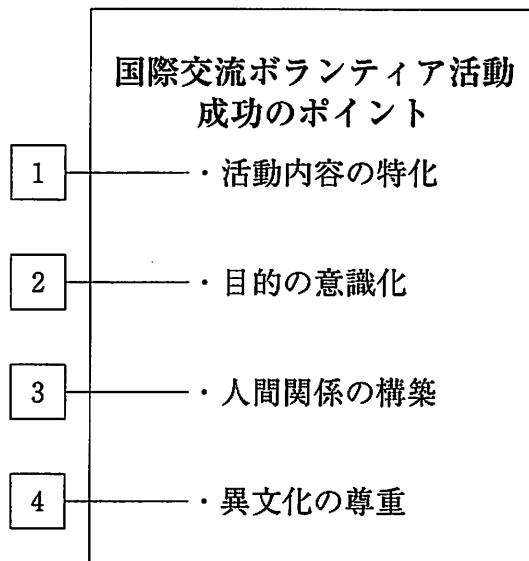


(阿久津 聰他『ブランド戦略シナリオ』ダイヤモンド社 を参考に作成)

4 番

国際交流に関する講演のあとで、講師が質問に答えています。この講師が重要だと思っている項目はどれですか。

4



5番

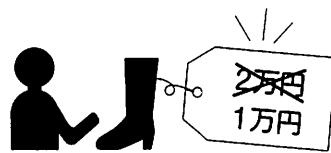
先生が、行動経済学の授業で、消費者心理とその行動について話しています。この先生が最後にする質問の答えはどれですか。

5

あなたに無駄遣いをさせる心理とは…

1

1. アンカリング効果



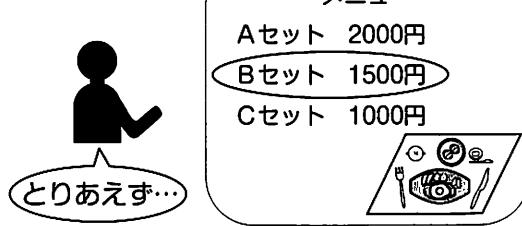
2

2. 希少性の原理



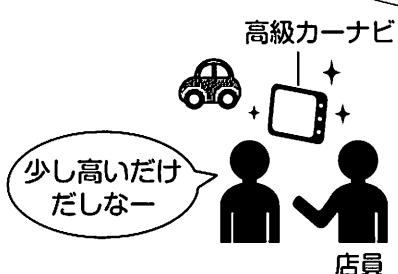
3

3. 極端回避性



4

4. 感応度遞減性

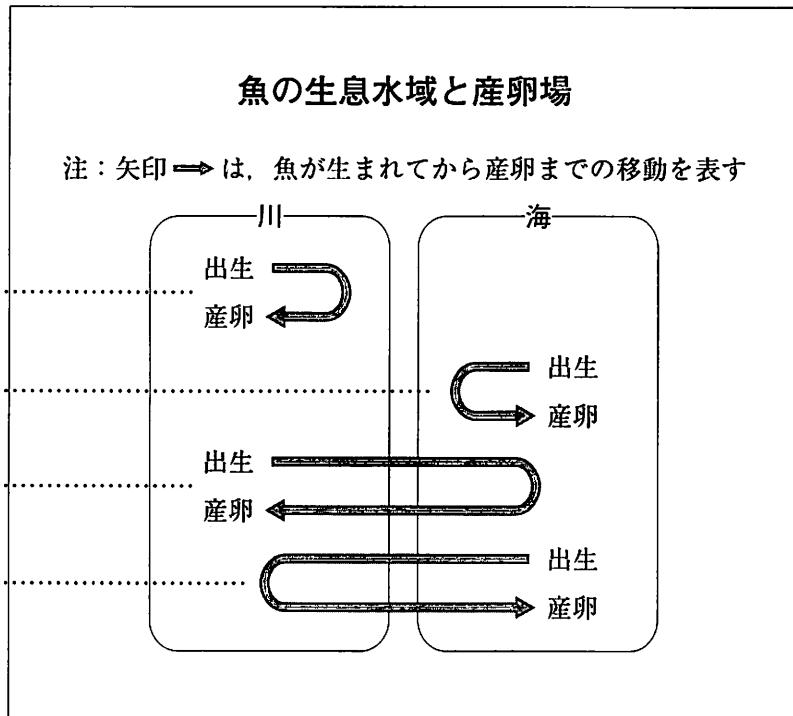


(「らいふプラス」日本経済新聞2013年12月25日 を参考に作成)

6番

先生が、生物学の授業で、魚の生息する水域について話しています。この先生の話によると、ウグイという魚が生息する水域は、どれですか。

6



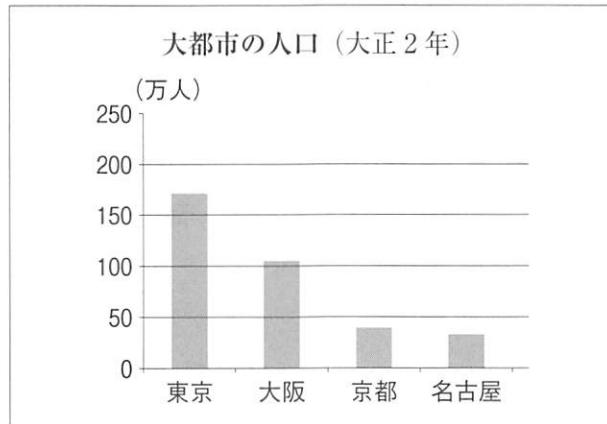
(塚本勝巳「回遊魚の世界」東京大学海洋研究所編「海の生き物100不思議」東京書籍
を参考に作成)

1. AまたはB
2. AまたはC
3. BまたはD
4. CまたはD

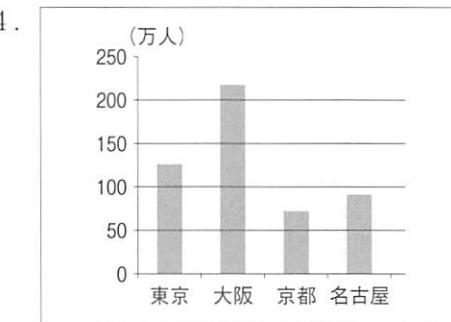
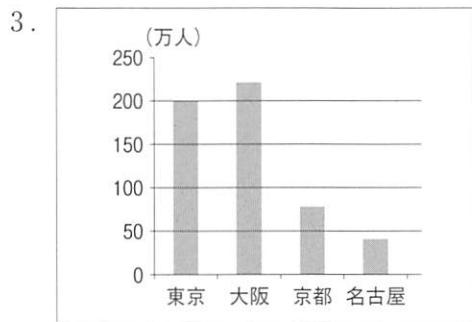
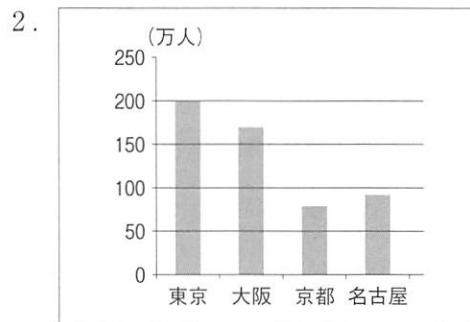
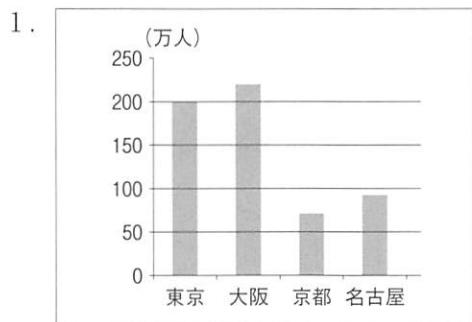
7番

先生が、大正時代の都市の人口について話しています。この先生の話によると、大正14年の人団はどのようになりましたか。

7



(速水融他『大正デモグラフィ』文藝春秋 を参考に作成)



8番

先生が、プライバシーの侵害について話しています。この先生が取り上げた例は、どのタイプにあたりますか。

8

プライバシーの侵害の四つのタイプ

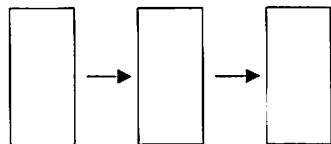
1. 個人の私的な事実を公開すること
例：隠している過去を発表する
2. 個人が一人でいることに干渉すること
例：一人でいる人につきまとう
3. 個人に対する誤った印象を流布すること
例：撮った写真を間違った情報と共に公開する
4. 利益のために、他人の名前や肖像を利用すること
例：有名人の名前を使ってチャリティー活動をする

9番

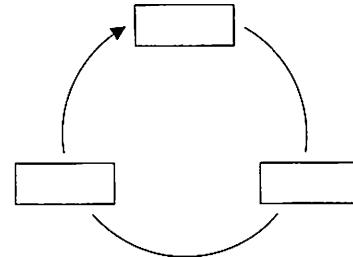
女子学生と男子学生が、発表について相談しています。この二人は、どの形式の図をどのような順に使って、発表することにしましたか。

9

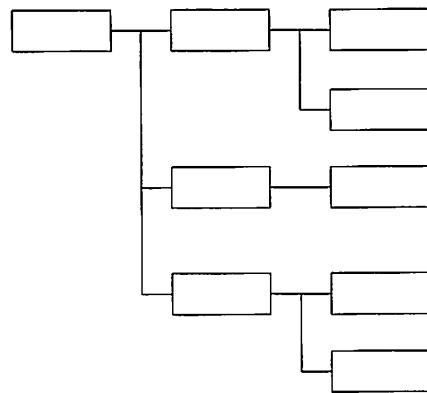
A 過程を表す図



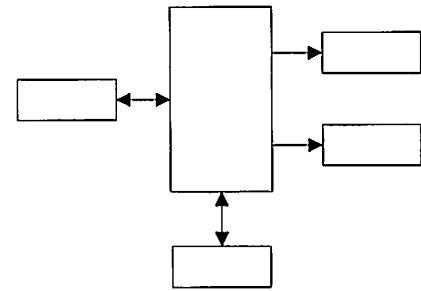
B 循環を表す図



C 分類・体系を表す図



D 他の分野との関係を表す図



(飯田英明『ひと目で伝わる！ 図解表現のテクニック』PHP研究所 を参考に作成)

1. D→C→A
2. C→B→D
3. B→D→A
4. C→A→D

10番

先生が、社会における機能について話しています。この先生が最後にする質問の答えは、図のどの部分にあてはまりますか。

10

社会における機能の分類

	顯在的機能 <small>けんざいてき</small>	潜在的機能 <small>せんざいてき</small>
順機能	1	2
逆機能	3	4

(森下伸也『社会学がわかる事典』日本実業出版社 を参考に作成)

11番

先生が、栄養学の授業で、味の相互作用について話しています。この先生が最後にする質問の答えはどれですか。

11

味の相互作用	
	一方が他方の味を強める
二つの味を同時に味わったとき	1
	一方が他方の味を弱める
	2
	先の味が後の味を強める
一つの味を味わったあとに、 続けて別の味を味わったとき	3
	先の味が後の味を変化させる
	4

(南出隆久他『調理学』講談社 を参考に作成)

12番

先生が授業で、勉強のタイプについて話しています。この先生が最後に挙げる例は、図の中のどれにあたりますか。

12

		勉強のタイプ	
		天井がある	天井がない
仕事に役立つ	天井がある	1	2
	天井がない	3	4

(竹中平蔵『竹中式マトリクス勉強法』幻冬舎 を参考に作成)

—— このページには問題はありません。 ——

聴解問題

説明

聴解問題は、音声を聴いて答える問題です。問題も選択肢もすべて音声で示されます。問題冊子には、何も書かれていません。

問題は一度しか聴けません。

このページのあとに、メモ用のページが3ページあります。音声を聴きながらメモをとるのに使ってもいいです。

聴解の解答欄には、『正しい』という欄と『正しくない』という欄があります。選択肢1, 2, 3, 4の一つ一つを聴くごとに、正しいか正しくないか、マークしてください。正しい答えは一つです。

一度、練習をします。

この問題冊子を持ち帰ることはできません。

- × モ -

- × モ -

— × モ —

⑦ 聴解問題スクリプト

Track 20

練習 女子学生と男子学生が、山田さんとの待ち合わせについて話しています。この二人はこれからどうしますか。

女子学生：山田さんに電話した？

男子学生：うん。

女子学生：何だって？

男子学生：急用ができたから、ちょっと遅れるって。待ってるって言ったんだけど、先に行ってくれって。

女子学生：じゃ、そうする？ でも、山田さん、研究会の場所、知ってるのかな？

男子学生：どうだろう？

女子学生：また、電話してみたら？

男子学生：いや、大丈夫だよ。先にどうぞって言ったんだから。

女子学生：そう言ったのなら、大丈夫ね。

この二人はこれからどうしますか。

1. 山田さんを待ってから行く。
2. 山田さんに先に行ってもらう。
3. 山田さんに電話をする。
4. 山田さんより先に行く。

Track 22

13番 男子学生と女子学生が、大学の演習クラスについて話しています。この女子学生は、今年、どのクラスに登録希望を出すことにしましたか。

男子学生：そろそろ演習クラスの登録希望の締め切りだけど、もう決めた？

女子学生：それがまだなの。去年は国際経済のクラスだったから、今年は、岡田先生の日本経済か、パク先生の東アジア経済か、迷ってるところ。

男子学生：ああ、そういうばアシアの経済に興味があるって言ってたね。

女子学生：うん、岡田先生は日本の企業研究の第一人者だから、日本経済について詳しく学べそうだし、パク先生のところだと日本だけじゃなくて東アジア全体の話を学べそうでしょ？

男子学生：そうだね。

女子学生：だから、ホントに迷ってて……。両方とりたいぐらいなんだけ……。

男子学生：あ、でもパク先生の演習って、3、4年生が対象じゃなかったっけ？ 確か履修

案内に書いてあったよ。

女子学生：え、2年生はだめなの？ちゃんと見てなかった！

男子学生：じゃ、もう決まりだね。

この女子学生は、今年、どのクラスに登録希望を出すことにしましたか。

1. 国際経済のクラス
2. 日本経済のクラスと東アジア経済のクラス
3. 日本経済のクラス
4. 東アジア経済のクラス

Track 23

14番 先生が、新聞やテレビによる報道について話しています。この先生は、食品に関する報道の問題点は何だと言っていますか。

新聞やテレビで報道される情報は、常に正しいものだと思われがちですが、私は、特に食品に関する報道は、残念ながら不適切なものが多いと思っています。宇宙の問題に関する報道であれば、専門外の記者が原稿を書くことはないでしょう。明らかに専門的な科学知識が必要だからです。同じように、食品の安全性というのも、専門知識が必要な最先端科学の分野のはずですが、暮らしとかかわりが深い内容のため、「科学」として扱われにくいというのが現状です。ですから、専門知識がある人が携わるべきなのに、そうではない人が内容を正確に理解しないまま原稿を書き、発信してしまうことが多いのです。情報を受け取る私たちは、その報道がどれほど正確なものなのか、常に考える必要があります。

この先生は、食品に関する報道の問題点は何だと言っていますか。

1. 専門知識の乏しい人が情報を発信している場合が多いこと
2. 難しい専門用語が多く、わかりにくく報道が多いこと
3. 暮らしに密着した身近な話題が取り上げられないこと
4. 古い情報が多く、最先端の情報が得られないこと

Track 24

15番 先生が、モグラという動物について話しています。この先生は、モグラの毛はどのように生えていると言っていますか。

モグラは、地中にトンネルを掘って、その中を自由に行き来し、えさを捕まえて生活をしています。モグラには皮膚が傷つかないよう、とても柔らかい毛が体中にびっしり生えています。一般に、動物の毛は体の動く方向に対して、後ろ向きに斜めに生えていて、それによって頭から尻尾の方向に毛の流れができています。ところが、モグラの毛は、体の

外に向かって、まっすぐに生えていて、体の前後に向かう毛の流れがありません。モグラはトンネル内を前だけでなく後ろ向きにも進むので毛が後ろに倒れていたらひっかかるてしまうからです。逆に、前に倒れていたら前に進むのが大変でしょう。モグラの毛はそうならないように生えているのです。

この先生は、モグラの毛はどのように生えていると言っていますか。

1. 前に向かって生えている。
2. 後ろに向かって生えている。
3. 皮膚に対して垂直に生えている。
4. 体の前と後ろで、向きが逆に生えている。

Track 25

16番 男子学生が、先輩の女子学生に、どうすれば人の発表を聞いたあと質問や考えが言えるようになるか尋ねています。この女子学生は、どんなことをしていると言っていますか。

男子学生：あの、先輩、前からお聞きしたかったんですが……。

女子学生：うん、何？

男子学生：ゼミでだれかが発表したあと、質疑応答の時間がありますよね。先輩はそのとき、必ず何かコメントを出されているんですが、どうして発表を聞き終わってすぐ、いい質問とか意見が言えるんですか。僕、発表の内容を理解するだけでも精一杯なんです……。

女子学生：うーん……。最初から何か質問しようと思って発表を聞いているからかな。

男子学生：え、それだけですか。

女子学生：うん、もっと具体的に言うとね、どこか私の考え方と違うところがないかって意識しながら聞いてるの。

男子学生：ああ、じゃ、聞いていると自然に質問が思い浮かぶっていうわけじゃないんですね。

女子学生：そうだよ。ただ聞いてるだけだとコメントできないからね。

男子学生：なるほど。

この女子学生は、人の発表を聞いたあと質問や考えを言うために、どんなことをしていると言っていますか。

1. 発表を聞きながら、ポイントを書き出す。
2. 発表を聞いたあと、すぐ思いついたことを言う。
3. 発表の内容を完全に理解する。
4. 発表の中に、自分の意見と同じではないところを探す。

17番 先生が、健康のために運動をすることについて話しています。この先生は、どうすれば運動を続けやすくなると言っていますか。

「健康のために運動をしたほうがいいと思うけれど時間がなくて」と言う人はたくさんいると思います。そんなとき、比較的時間を確保しやすい朝、早起きをして運動するのは、確かにいい方法です。しかし、朝が苦手な人が無理に早起きをして運動しようとしてもすぐに挫折してしまうでしょう。運動は続けることが大事ですから、最初からあまり意気込みすぎないほうがいいのです。やる気は大切ですが、「朝5時に起きて運動する」とか「毎日1時間は必ず運動する」というような明確な目標や綿密な計画を立てると長続きしません。予定通りにできない日があっても他の日に補うことができるよう、自分の生活のペースに合った、ゆとりのある計画を立てて取り組んだほうが、継続しやすいものなのです。

この先生は、どうすれば運動を続けやすくなると言っていますか。

1. 柔軟に変えることができる計画を立てる。
2. 運動量や時間など、綿密な計画を立てる。
3. やる気を高めるために明確な目標を持つ。
4. 時間を確保しやすい朝に運動をする。

18番 先生が、ある地域にすんでいる虫について話しています。この先生は、この地域の虫に、どのような変化があったと話していますか。

ある地域に、もともと同じ種類の虫で、体の色が白っぽいものと黒っぽいものがいました。その後、産業の急激な発展によって、この地域に急速に工場が増えて、その工場から出た黒いススが空気中にたたよい、周辺の空気が汚染されたために、虫が生息していた木の色も黒く変わってしまいました。

すると、この地域の虫のほとんどが黒っぽい色のものになったのです。これは、虫の体の色が黒く変化したのではなく、白い虫の数が激減したためだということが最近になってわかりました。つまり、周りが黒い環境の中では、白い虫のほうが目立つので鳥などの天敵に見つかりやすく、食べられやすくなったということなのです。

この先生は、この地域の虫に、どのような変化があったと話していますか。

1. 白い虫が、大気汚染によって黒く変化した。
2. 黒い虫が、目立たないように白く変化した。
3. 黒い虫が鳥に食べられやすくなり、白い虫の割合が高くなった。
4. 白い虫が鳥に食べられやすくなり、黒い虫の割合が高くなった。

19番 作曲家が、講演会で、司会者の質問に答えています。この作曲家は、どんなことに注意して、作曲をしていると言っていますか。

司会者：作曲をするときに気をつけていらっしゃることはどんなことですか。

作曲家：そうですね。最近は、音楽の寿命が短くて、すぐに飽きられてしまうと言われていますから、いかに飽きられない音楽を作るか、ということには気を使いますね。長く親しまれるのはどのような音楽か、心理学の実験でも調べられているんですよ。

司会者：どのように調べるんでしょうか。

作曲家：例えば、ある実験では、単純でわかりやすく、ちょっと聞いていいなと思う曲と、リズムやメロディがやや複雑で、第一印象としてはなんだかよくわからないなという曲と、二つの曲を繰り返し聞いてもらったんですが、すぐに飽きられてしまったのは、どちらの音楽だと思いますか？

司会者：ああ。単純だと、すぐに聞き飽きてしまうかもしれませんね。

作曲家：そうなんです。だから、たとえ初めの印象が悪くても、ちょっと難解なほうがいいんです。昔からずっと親しまれ続けている音楽がありますが、私も長く愛される音楽を作りたいものだと思っています。

この作曲家は、どんなことに注意して、作曲をしていると言っていますか。

1. 昔から親しまれているメロディを取り入れる。
2. 最初の印象がよくなるように工夫する。
3. ある程度複雑なリズムやメロディを使う。
4. 単純でわかりやすい曲にする。

20番 先生が、フクロウという鳥の生態について話しています。この先生は、フクロウが夜に活動するのは、どんな点で合理的だと言っていますか。

夜間、活動する代表的な鳥として、よくフクロウの名前が挙げられます。フクロウの目は大きく、視力は大変すぐれていて、わずかな月明かりの中でも活動し、えさとなる小動物を捕らえることができます。その目は暗やみに適した進化をしているので、昼間の明るさにはあまり向いていません。

また、ワシという鳥は、フクロウのように小動物をエサとして食べますが、主に昼間に活動しています。もしフクロウが昼も活動したら、ワシと小動物を取り合うことになるでしょう。フクロウとワシが昼、夜に分けて活動するのは、大変合理的な動物界の仕組みと言えるのです。

この先生は、フクロウが夜に活動するのは、どんな点で合理的だと言っていますか。

1. 昼間活動している鳥との争いを避けられる点
2. 夜のほうが静かで獲物の動きがわかりやすい点
3. ほとんど目が見えない昼間に休むことができる点
4. エサとなる小動物が眠っているので捕まえやすい点

Track 30

21番 先生が、歴史の授業で話しています。この先生は、最近の発掘調査によって、何が明らかになったと言っていますか。

エジプトのピラミッド建設について、以前は、王が人々を無理やり連れてきて、奴隸のように働かせたと考えられていました。しかし、最近では、ピラミッドの建設は、川が氾濫して農作業ができない時期に、農民に仕事を与えるための公共事業であったという説が有力になっています。ピラミッドの周りから、パンやビールなど、人々の食事内容が比較的豊かであったことを示す物が発掘されているからです。

似たようなことは、日本の鉱山でもあります。江戸時代の銀の採掘現場では、権力者が人々をひどい条件で働かせていたと考えられてきました。しかし、この考えも、近年新しく遺跡が発見されて変わりました。銀山の周辺の住居跡から、茶碗や箸、くし、髪飾りなどが発掘されたからです。労働者は、決して劣悪な暮らしを強いられていたわけではなかったのです。

この先生は、最近の発掘調査によって、何が明らかになったと言っていますか。

1. 公共工事の技術が進んでいたこと
2. 権力者の支配力が強かったこと
3. 労働者の生活水準が高かったこと
4. 権力者の食生活が豊かだったこと

Track 31

22番 男性が、食堂の食券売り場で話しています。この男性はこれからどうしますか。

男性：すみません。380円の定食をお願いします。ここで食券買うんですよね。

女性：いいえ、こちらでは回数券だけ売ってるんです。

男性：回数券って？

女性：定食10食分の料金で、11食分の券が買えるんです。ちょっとお得になってますよ。

男性：回数券がないとダメですか？

女性：いえ、回数券がない場合は、直接カウンターで注文して、食べ物を受け取って、最後にレジでお金を払えばいいんです。

男性：そうなんですか。うーん、じゃあ、回数券にします。

女性：380円の定食用と、300円の定食用がありますが。

男性：じゃあ、380円のほうをお願いします。

この男性はこれからどうしますか。

1. 380円で食券を買います。
2. 3800円で回数券を買います。
3. カウンターで380円払います。
4. カウンターで3800円払います。

Track 32

23番 先生が、企業経営について話しています。この先生は、景気の後退にともなって企業の業績が悪化しているときに、経営者が最も大切にすべきことは、何だと言っていますか。

景気の後退にともなって、業績が悪化してきたとき、改善策として、まず思いつくのはコストの削減でしょう。そのために真っ先に人員の削減を行う経営者がいますが、これは、その対象となった人だけではなく、それ以外の人たちの働く意欲も低下し、結果として組織力の低下につながってしまいますから、できれば避けたいものです。むしろ、不況によって仕事量が減った現場に生まれた時間的な余裕を利用して、社員の教育、研修などに力を入れるべきです。接待費や交通費などと並んで、教育研修費はコスト削減の対象になりやすいものです。しかし、企業の競争力の基盤であり、株主による評価の基準となる人的資本への投資を惜しんでは、不景気を乗り越える力を持った組織は作れないと私は思います。

この先生は、景気の後退にともなって企業の業績が悪化しているときに、経営者が最も大切にすべきことは、何だと言っていますか。

1. 仕事量を減らすこと
2. 人材の育成に力を注ぐこと
3. 他社との競争を避けること
4. 株主の意見を取り入れること

Track 33

24番 男子学生と女子学生が、大学祭で行う演劇部の出し物について話しています。この男子学生は、出し物は何がいいと言っていますか。

男子学生：ねえ、大学祭のうちの演劇部の出し物だけどさ、今度のミーティングで決めるんだよね。

女子学生：うん。去年はミュージカルだったから、今年は音楽なしのお芝居がいいな。

男子学生：僕、個人的には、現代社会の問題を鋭くつくような劇を創作したいんだけど……。

女子学生：え、創作？ それって、脚本から書くってこと？

男子学生：うん。実は、最近ちょっと書き始めたんだ。

女子学生：すごいね。でもそれ、大学祭までに完成できる？ 練習もしなくちゃいけないし。もうできてる脚本を使って、古典劇をやればいいんじゃないかな。

男子学生：古典劇？ シェイクスピアとか？

女子学生：そう。正統派でいくのがいいと思う。

男子学生：いや、現代もののほうがいいよ。それもオリジナルの。

女子学生：そうかなあ。じゃ、ミーティングまでに一応仕上げて持ってきてよ。

男子学生：うん、わかった。

この男子学生は、出し物は何がいいと言っていますか。

1. ミュージカルのような音楽劇
2. シェイクスピアなどの古典劇
3. すでに脚本がある現代劇
4. 自分で作った新しい劇

Track 34

25番 先生が、ある商店街について話しています。この先生は、この商店街が活性化に失敗した理由は、何だと言っていますか。

ある自治体が、商店街の復興を目指すために、公共事業としてお金をつぎこんで、商店街の街並みや店構えを昔懐かしい雰囲気を変え、積極的に観光客を呼び込みました。その結果、確かに、観光客を対象としたお土産を扱う店や食べ歩きができる商品を扱う店は売り上げが伸びました。しかし一方で、地元住民が必要とする日常生活用品を扱う店は売り上げが伸びないまま、次々に閉店してしまいました。結局、商店街の復興という目標は達成されなかったのです。

観光が盛んになると商店街が活性化することを混同してはいけません。地元住民の生活を支え、地元住民に毎日来てもらえること、そしてそのための顧客サービスを怠らないこと、こうした意識が地域の商店街の活性化には不可欠なのです。

この先生は、この商店街が活性化に失敗した理由は、何だと言っていますか。

1. 商店街の改装にかけるお金が不十分だったから
2. 商店街が地域住民の生活のことを考えなかったから
3. 商店街を訪れる観光客が減ったから
4. 商店街の建物が古めかしくなったから

26番 照明の専門家が話しています。この専門家は、明るさや暗さについてどう考えていますか。

日本では、明るいことが文明の発展だと考えられがちで、明るいことを単純にいいことだと思っている人が、世間一般にも、照明の専門家にも多いようです。実は私もその一人だったのですが、イギリスに留学して、駅や道、部屋などの暗さ、また冬の朝の暗さなどさまざまな暗さを経験して考えが変わりました。明るさを求めるだけでいいのか、暗さの価値を認め、暗さを生活に取り入れることで快適さが増すということもあるのではないか、と考えるようになったのです。例えば、自宅でくつろぐときは少し暗めのほうが落ち着きますね。あえて照明を暗く抑えることで、人々がゆったり行動する空間を作る。それも、照明の極意ではないかと思うのです。

この専門家は、明るさや暗さについてどう考えていますか。

1. 明るさは文明の発展の象徴である。
2. 暗さは人の行動を鈍くし、気分を落ち込ませてしまう。
3. 明るさを変えても、生活の快適さは変わらない。
4. 明るさだけを求めて、快適な空間が作れるとは限らない。

27番 先生が、観光について話しています。この先生が考える観光とは、例えどのようなものだと言えますか。

観光とは、「普段の生活の場を離れ、訪問先の土地で有名なものを少しづつ楽しむことだ」と私は考えています。観光という行為には、例えば、歴史的な建物を見て、芸能の一幕だけを見て、地元の名物を食べ、みやげ物を買うといった、多くの活動が詰め込まれています。一つのことに時間をかけて楽しむのではなく、短い時間で、さまざまなことを少しづつ楽しむというのが本質的な特徴です。ですから、何かの研究や仕事の調査のための旅行、宗教的な巡礼や参拝のための旅行などは、観光とは呼べないと思います。そこに、多少の観光的な要素があったとしても、主要な目的が、観光とは違っているからです。

この先生が考える観光とは、例えどのようなものだと言えますか。

1. 宿で地元料理を食べ、その近辺の名所を見学する。
2. 社員旅行で旅館に泊まり、親睦を深める。
3. 京都の寺に長期滞在し、仏教について学ぶ。
4. 田舎の農業体験に1週間参加する。

平成26年度日本留学試験(第2回)試験問題 正解表 The Correct Answers

〈日本語〉 Japanese as a Foreign Language

記述…問題解答例を347, 348ページに掲載

読解		
問	解答番号	正解
I	1	4
II	2	2
III	3	2
IV	4	4
V	5	2
VI	6	1
VII	7	2
VIII	8	1
IX	9	1
X	10	3
XI	問1	1
	問2	4
XII	問1	3
	問2	3
XIII	問1	2
	問2	4
XIV	問1	4
	問2	2
XV	問1	3
	問2	3
XVI	問1	2
	問2	3
XVII	問1	4
	問2	2
	問3	1

聴読解			聴解		
問	解答番号	正解	問	解答番号	正解
1番	1	3	13番	13	3
2番	2	4	14番	14	1
3番	3	3	15番	15	3
4番	4	2	16番	16	4
5番	5	2	17番	17	1
6番	6	2	18番	18	4
7番	7	1	19番	19	3
8番	8	1	20番	20	1
9番	9	4	21番	21	3
10番	10	2	22番	22	2
11番	11	2	23番	23	2
12番	12	4	24番	24	4
			25番	25	2
			26番	26	4
			27番	27	1

「記述」問題解答例 ①

私の国では介護の仕事をする人が不足しています。生活様式の変化から、親と子供が別々に生活をしているので、親は自分の子供に頼らなくなっています。また、高齢化が進んでおり、介護職は今後、もっと人数が必要になる職業だと考えられています。	20 40 60 80 100 120 140 160 180 200 220 240 260 280 300 320 340 360 380 400 420 440 460 480 500
しかし、介護職に就きたい人は多くありません。まず、高齢者の世話は楽な仕事ではないからです。認知症の人もいるし、寝つきりの人もいて、精神的にも肉体的にも負担が大きいです。また、勤務時間の面もシフト制で、休日や夜間にも出勤する必要があります。その割に収入が少ないので、これでは必要な人数が集まらないわけです。	
高齢者は、今の国を作り上げてきた労働者なので、幸せな生活を送ってもらいたいです。また、誰もが年をとるので、老後の心配のない社会を作ることは重要です。これは国が責任を持って行うべきことです。	

「記述」問題解答例 ②

日本のスーパーなどでは多くの食料を用意し、賞味期限が近づいたものは処分して、新しいものを並べている。また、レストランでは、料理が品切れにならないように、材料をたくさん準備している。どちらも客にとってはうれしいサービスである。しかし、このサービスをするためには、毎日、まだ食べられるものを捨てることになる。

私の国は、レストランが少なく、食料品店もあまり多くない。料理の材料を買いにスーパーへ行っても、品切れのこともあるし、少し古いものを売っていることもある。だから、買いたい野菜がないときには、それを使わない料理を作り、古くなった果物などを買わないよう自分で気をつけなければならない。これは、少し大変なことだが、捨てられる食料が少なくてすむという利点がある。

日本のように、スーパーへ行けばどんな野菜も新鮮な状態で買えるのは便利なことだが、過剰なサービスだとも言える。

無駄に食料を捨てなくてすむように、スーパーはもう少し長く食料を売り、レストランも品切れのときには別の料理を出せばいい。日本の消費者もこの程度の不便なら我慢すればいいと思う。

「記述」採点基準

「記述」の採点にあたっては、以下の基準に基づき採点し、得点を表示します。

得点	基準
50点	(レベルS) 課題に沿って、書き手の主張が、説得力のある根拠とともに明確に述べられている。かつ、効果的な構成と洗練された表現が認められる。
45点	(レベルA) 課題に沿って、書き手の主張が、妥当な根拠とともに明確に述べられている。
40点	かつ、効果的な構成と適切な表現が認められる。
35点	(レベルB) 課題にはほぼ沿って、書き手の主張が、おおむね妥当な根拠とともに述べられている。
30点	かつ、妥当な構成を持ち、表現に情報伝達上の支障が認められない。
25点	(レベルC) 課題を無視せず、書き手の主張が、根拠とともに述べられている。しかし、その根拠の妥当性、構成、表現などに不適切な点が認められる。
10点	(レベルD) 書き手の主張や構成が認められない。あるいは、主張や構成が認められても、課題との関連性が薄い。また、表現にかなり不適切な点が認められる。
0点	(NA)* 採点がなされるための条件を満たさない。

レベルA、B、Cについては、同一水準内で上位の者と下位の者を区別して得点を表示する。

*0点 (NA) に該当する答案は以下のとおりである。

- 白紙である。
- 課題文をそのまま書いた部分を除いて、日本語で書かれた部分が40字に満たない。
- 与えられた課題（1と2）の両方に解答している。
- 課題文をそのまま書いた部分を除くと、与えられた課題（1と2）のうち、どちらについて書かれているか判断できない。
- 問題冊子の表紙等、課題と関係のない文章を書き写している。
- その他、委員会の議を経て、0点とするに至当な理由があると判断されたもの。